アメリカ合衆国　大統領
　バラク・オバマ　殿

核兵器廃絶の実現に向けて

１．大統領は、４月５日、プラハにおいて「核兵器のない世界」に関する演説を行いました。私たち連合、原水禁、核禁会議の３団体は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に取り組んでいるところであり、この度、大統領が、平和で安全な「核兵器のない世界」に向けた、具体的な方途を追求することを明確に宣言されたことを強く支持します。

２．とくに、米ロによる戦略核兵器削減条約（STARTⅠ）の後継条約の年内交渉妥結、包括的核実験禁止条約（CTBT）批准の追求、兵器用核分裂性物質生産禁止条約（FMCT）交渉開始への意思を改めて表明したことや、「核セキュリティーに関する世界サミット」の開催について提案されたことを歓迎します。

３．私たち３団体は、大統領のリーダーシップの発揮により、核兵器のない世界の実現に向けて、国際社会の連帯が強まるとともに、2010年核拡散防止条約（NPT）再検討会議では、2000年のNPT再検討会議で合意された①CTBTの早期発効、②FMCTの即時交渉開始、そして、③核兵器の廃絶に対する核保有国の明確な約束など核軍縮、不拡散の前進ある合意形成がはかられることを強く期待します。
　そのためにも、被爆地である広島、長崎への大統領自身の訪問を切に願うものです。

４．また、5月25日の核実験を強行した北朝鮮に対して、NPTおよびIAEA保障措置への早期復帰を約束した第４回六者会合・共同声明(2005.9.19)の完全実施を求め、国連加盟国の一員として国際合意の誠実な履行を働きかけて頂くことを強く望みます。
　核兵器の廃絶と世界の恒久平和実現のため、大統領の一層のご尽力を期待いたします。

2009年７月２日

日本労働組合総連合会
　会長　髙木　　剛

原水爆禁止日本国民会議
　議長　川野　浩一

核兵器禁止平和建設国民会議
　議長　丸尾　直美